

# FSP3/FSP7

FSPは、ROHDE&SCHWARZ社の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-FSP-R	ラトックシステム社	60,000円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
W32-FSP-C	コンテック社		
W32-FSP-N	NI社		
使用できる機種		FSP3, FSP7	

## 機能



1. 画面上の「スペクトル波形」「Max Peak」「Next Peak」「測定条件」をExcelシートに取込み、必要なら自動的に作図を行います。
2. 「チャンネル電力」または「占有周波数帯域」の測定値を、指定された時間間隔で指定された回数の連続取り込みも可能です。Excelシートに取り込んだデータはExcelの機能で作図・計算・成績書作成等自由に処理できます。

## 概要

「取込開始」ボタンをクリックすると、スペクトル波形データと周波数データと共にExcelシートに取込みます。スペクトル値の単位は、測定器に設定されている単位で取込まれます。また、同時に測定器の設定条件や「MaxPeak」等を取込むことができます。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。本アドインは取込んだスペクトル波形を自動的に作図しますが、作図形式が気に入らなければExcelのグラフィックツールを使用して自由に作図を変更してください。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動するとExcelシート上に、このウィンドウが現われます。スペクトル波形の取込か、測定値取込等を行うかをタブでページを切り換えます。



## 操作説明

### トレース波形取込

- トレース波(スペクトル波)を取込む時、このタブをクリックします。
- 取込む波形にチェックを付けます。
- 波形と同時に取込む項目にチェックを付けます。同時に複数の項目にチェックを付けることも可能です。「測定条件」は、測定時の「RBW」「VBW」「SWEEP TIME」「ATT」等の設定値を取込みます。
- トレース波形の周波数データをExcelに取込む時の単位を指定します。
- 測定器本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。測定器本体のGP-IBアドレスの設定方法は次頁を参照ください。
- 取込中は「赤色」、停止中は「灰色」となります。
- 波形データ取込を開始します。
- Excelシート上のカーソルを左右/上下に移動してデータ取込開始位置を決定します。「取込開始」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方へデータを取込みます。
- データを取込むExcelシートを切替えます。
- 取込んだ波形データを自動的に作図します。
- 作図波形の線の太さを指示します。
- アドインを終了します。

## 連続測定値取込

測定値を連続取込する場合、このタブをクリックします。

注) 本ソフトは測定器側の設定を一切行いません。測定を開始する前に、適切な測定条件を手動で設定しておいてください。測定器側が適切な測定条件でない場合は、測定を行なうことはできません。  
また、「TRACE」ボタンにより、「WRITE」「MAX HOLD」「AVERAGE」の選択「SWEEP COUNT」の設定なども設定が必要です。

「START」ボタンで、測定値の取り込みを開始します。測定値は、Excel上の現在のカーソル位置に入力されます。  
測定中「PAUSE」で測定を一時中断します。中断中に「START」ボタンをクリックする毎に、一回だけデータを取り込みます。  
「PAUSE」を解除すると、連続測定に戻ります。「PAUSE」を先に押した後、「START」を押すとステップ取り込みが可能です。  
「スリープ完了待ち」の間は、ボタンのクリックに反応しませんのでご注意ください。

取込む測定値の対象となるスクリーン「A」「B」を選択します。



測定項目を下記から選択します。  
「Channel Power」  
(チャンネルパワー)  
「Occupied BandWidth」  
(占有周波数帯域幅)

測定値の取込時間間隔を入力します。単位は秒です。0から7200の範囲で入力してください。空欄は「0」と判断されます。測定器の掃引時間より短い時間を入力した場合は、掃引時間に依存した時間間隔での取り込みになります。

取込回数を指定します。1から65000の範囲で入力します。指定回数に到達しなくても、「STOP」または、Excelシートの最下行で測定を終了します。

測定値と同時に、スタートからの経過時間をExcelに入力します。

測定値と同時に、日付時刻をExcelに入力します。

## 測定値の取込結果例

Microsoft Excel - FSPカタログ.xls

チャンネルパワー 測定結果例			
日付時刻	経過時間(秒)	ACF(dBm)	Upper(dB)
2002/12/31 18:17:44	0	-79.46986579	-0.31917572
2002/12/31 18:17:44	1	-72.01823425	0.002983093
2002/12/31 18:17:45	2	-77.61734772	-0.424194336
2002/12/31 18:17:46	3	-76.07574463	0.032249451
2002/12/31 18:17:47	4	-73.92445374	-0.029006958

  

占有周波数帯域幅 測定結果例			
日付時刻	経過時間(秒)	OEW(MHz)	電力パーセント
2002/12/31 18:17:57	0	0.084494285	99%
2002/12/31 18:17:58	1	0.092378215	
2002/12/31 18:17:59	2	0.128633091	
2002/12/31 18:18:00	3	0.107508519	
2002/12/31 18:18:01	4	0.083548454	

チャンネルバンド幅

センター周波数(「周波数単位」の設定に依存します。)

Adjacent BandWidth

Adjacent Spacing(「周波数単位」の設定に依存します。)

チャンネルパワー測定値

電力パーセント

センター周波数(「周波数単位」の設定に依存します。)

占有周波数帯域 測定値(「周波数単位」の設定に依存します。)

## 測定器の GP-IB アドレス設定方法

「SETUP」ボタンを押します。

「GENERAL SETUP」ボタンを押します。

「GPIB ADDRESS」ボタンを押して、アドレス値を入力します。

